

花見堂小学校跡地活用 方針（案）

平成26年11月

世田谷区

目 次

- | | | |
|---|-------------------------|-----|
| 1 | 花見堂小学校の施設概要 | p 1 |
| 2 | 花見堂小学校跡地活用方針の策定にかかる検討経過 | p 2 |
| | （ 1 ） 学校跡地活用の方向性の検討 | |
| | （ 2 ） 学校跡地活用方針の策定 | |
| 3 | 花見堂小学校跡地活用 | p 4 |
| | （ 1 ） 検討の主な視点 | |
| | （ 2 ） 活用方針 | |
| 4 | 想定されるスケジュール | p 6 |

1. 花見堂小学校の施設概要

(1) 施設・敷地の現況

所在地：代田1 - 13 - 9

敷地面積：5,655 m²

施設概要：構造 R C造(昭和32年築)

延床面積 4,045 m²

(2) 用途地域等による制限

第一種中高層住居専用地域、建ぺい率50%、容積率150%、
30m第一種高度地区、準防火地域

(3) 周辺公共施設の状況

【配置図】



2. 花見堂小学校跡地活用方針の策定にかかる検討経過

(1) 学校跡地活用の方向性の検討

花見堂小学校跡地活用方針（素案）の策定にあたり、跡地活用の方向性について地域の方々から意見等をうかがうワークショップ形式の「花見堂小学校跡地活用検討ミーティング」を以下のとおり実施した。

経過

第1回花見堂小学校跡地活用検討ミーティング

日 時：平成25年11月24日（日） 10時00分～12時00分

場 所：花見堂小学校 家庭科室

参加者：61名

第2回花見堂小学校跡地活用検討ミーティング

日 時：平成26年1月26日（日） 10時00分～12時00分

場 所：花見堂小学校 家庭科室

参加者：66名

第3回花見堂小学校跡地活用検討ミーティング

日 時：平成26年3月1日（土） 14時00分～16時30分

場 所：花見堂小学校 家庭科室

参加者：59名

こどもイベント&中間報告会

日 時：平成26年5月10日（土） 14時00分～16時00分

場 所：花見堂小学校 校庭

参加者：140名（子ども70名、大人70名）

第4回花見堂小学校跡地活用検討ミーティング

日 時：平成26年5月24日（土） 10時00分～12時00分

場 所：花見堂小学校 家庭科室

参加者：60名

第5回花見堂小学校跡地活用検討ミーティング

日 時：平成26年6月29日（日） 10時00分～12時00分

場 所：花見堂小学校 家庭科室

参加者：58名

最終報告会

日 時：平成26年7月26日（土） 14時00分～15時30分

場 所：花見堂小学校 家庭科室

参加者：54名

ミーティングで出された主な意見等

《子どもの声が聞こえる施設》

- ・子どもが思いきり遊べる広さの児童館、中高生世代の居場所としての機能を持つ施設
- ・保育園

保育園は、現段階で通常の保育園に限定せず、保育需要を見定めながら、多様な保育形態に対応できるようにする等の意見もある。

《高齢者から子どもまで多世代が集う複合施設》

- ・多目的に使える集会室、利用者が飲食しながらくつろげる場所

《文化活動ができる施設》

- ・集会施設、図書コーナー、音楽室、花見堂メモリアル

《スポーツができる施設》

- ・地域のスポーツ（バレーボール、剣道、野球等）が可能な施設

《広々とした広場》

- ・地域イベントや小学生の野球等の練習の可能な広場、既存の緑の保全、芝生

《防災機能の確保》

- ・現行の避難所機能（面積）の確保、防災倉庫、防火水槽等

《周辺環境や周辺住民への配慮》

- ・騒音、日影、出入口

《その他》

- ・花見堂の名前を残す
- ・太陽光パネル、屋上緑化等
- ・地域コミュニティが活性化するような施設。そのために地域が運営に関われるようにする。
- ・施設規模・配置は、主要施設以外は小規模とし、近隣に配慮した適正なボリューム・配置とする。

（２）学校跡地活用方針の策定

学校跡地活用方針（素案）作成

「花見堂小学校跡地活用検討ミーティング」での提案を踏まえ、「学校跡地活用方針（素案）」を庁内で検討し、作成した。

説明会

区で作成した「学校跡地活用方針（素案）」について、花見堂小学校学区域内に案内のポスティングを行い、区民説明会を実施した。

日 時 : 平成26年9月20日（土） 10時30分～12時00分

場 所 : 花見堂小学校 体育館

区民参加者：42名

区民意見募集

区のお知らせ、ホームページ等を活用し、区民意見を募集した。

期 間：平成26年9月15日（月）～10月6日（月）

件数等：78件

3. 花見堂小学校跡地活用

(1) 検討の主な視点

跡地活用検討ミーティングでの提案を踏まえ、花見堂小学校が地域において果たしてきた子どもが集う場としての役割、防災機能を含む地域コミュニティの拠点としての役割を継続し、子どもから高齢者まで多世代が集う施設を基本とする。整備にあたっては周辺地域における公共施設の状態等を考慮し、公共施設整備方針に基づいて近隣施設の移転による複合化・多機能化（同一の施設を複数の用途で使用する）を図る。

近隣の公共施設の改築や移転等に伴う仮設として既存施設活用

世田谷区立小・中学校の適正規模化・適正配置に関する具体的な方策（第2ステップ）に基づき、平成29年度より改築が予定されている代沢小学校の仮校舎として使用することにより、工事期間中の児童の教育環境を維持し、同時に工期の短縮や改築時の仮設校舎建設費の削減を図る。

施設の複合化

施設整備経費の抑制を図るとともに、同一の建物を複数の施設機能で共有して有効に使うことをめざし、近隣の公共施設の現況を踏まえ移転等を含めた施設の複合化を図る。

防災機能（避難所等）の確保

これまでどおり災害時の地域の避難所や防災倉庫等の防災機能を確保する。

(2) 活用方針

「代沢小学校」の仮校舎として暫定利用（A）した後、改築し、「児童館、区民集会施設等の複合施設」（B）として活用する。

(A) 代沢小学校の仮校舎

既存施設を改修し、代沢小学校改築時の仮校舎として活用する。

仮校舎としての活用にあたっては、児童の教育環境の維持に必要な改修工事を行う。また、BOP室等を新たに整備する。通学路の安全には十分配慮し、必要な対策を講じる。

体育館、校庭等については、休日・夜間の区民利用開放を行う。

区民利用開放の具体的な方法については、代沢小学校の学校行事等での使用を基本とし、地域活動の状況を含め、学校や関係者と検討する。

引き続き災害時の避難所として活用する。

(B) 児童館、区民集会施設等の複合施設

(A)の暫定利用後、既存施設は解体したうえで、児童館、区民集会施設等の複合施設として整備する。

代田南児童館を移転し()、屋内スポーツも可能な遊戯室や中高生世代の居場所となる機能を備えた児童館を整備する。

館庭は、可能なかぎり確保し、行事等の地域活動に配慮する。

児童館の遊戯室や館庭の地域開放(小学生の野球・サッカーの練習等)についても、検討する。

代田南地区会館を移転し()、多世代の交流促進や多様な活動・地域活動に配慮した区民集会施設を整備する。

保育園は、低年齢児を中心とする新規の小規模な私立保育園を整備する方向で検討する。

ただし、施設の開設時期である平成33年度以降の保育需要を確認しながら、多様な保育形態等に対応できる施設の検討も合わせて行う。

保育需要を確認しながら、障害のある子どもたちを支援する施設機能の整備の可能性を検討する。

運営方法を含め、図書コーナーの整備を検討する。

避難場所、防災倉庫、防火水槽、マンホールトイレ等災害時の避難所としての防災機能は、引き続き維持していく。

面積、配置に関する詳細は、基本構想策定時に決定する。検討にあたっては、周辺環境や周辺住民に最大限配慮した施設規模とする。

施設運営方法について、地域が運営に関われるような仕組みを基本構想策定時に検討していく。

代田南児童館、代田南地区会館を移転した跡地には、地域における施設需要を考慮し、民間事業者による地域密着型の特別養護老人ホーム等の介護サービス施設を整備する方向で検討する。

4 . 想定されるスケジュール

	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
花見堂小学校校舎	■						
代沢小学校仮校舎				■			
複合施設（児童館、区 民集会施設等）の建設						■	

資料 1

平成 26 年 10 月

花見堂小学校跡地活用方針（素案）説明会開催結果（概要）

1 日 時 平成 26 年 9 月 20 日（土） 10 時 30 分～12 時

2 場 所 花見堂小学校体育館

3 参加者 区民出席者 42 名

区側出席者 11 名

北沢総合支所長、子ども・若者部長、教育環境推進担当部長、北支*
地域振興課長、施設営繕第二課長、児童課長、高齢福祉課長、学校適
正配置担当課長、保育計画・整備支援担当係長、政策企画課係長

花見堂小学校住民説明会

質問等要旨	回答
子どもの施設というが、現在の児童数と施設整備後の児童数をどのように予想しているのか。	花見堂小学校の閉校後、代沢小学校の児童数としては、約 400 名規模になることを想定している。将来的には、徐々に減っていく。
小学校の跡地だから子ども達の施設というのは分かるが、高齢者が増えていく中で、老人世代がより活用できる施設にした方が、施設が生きる。	大切な視点である。「高齢者が集える施設」も視野に入れて検討していく。
花見堂小学校は 1,700 坪。建物の坪数は 400 坪で良いのか？ 近隣への影響がある。新しい施設は何坪にするのか。できればコンパクトにした方がいい。	現行の坪数はその通り。 今後、施設の持つ機能等を決め、面積の大きさを含め皆さんとご相談しながら決めていく。
施設の名称は何にするのか？「世田谷代田」という名称はインパクトがあるので“世田谷代田花見堂”という名前にして欲しい。	名称は今後検討していく。
北沢はゴロがよくない。私は代田川と呼んでいる。	

<p>地域のコミュニティの拠点とあるが、自治会でも商店街でも個人の家にはいかないと、（地域の事が）わからないのがもどかしい。総合的に地域の事が全てわかるような、施設の総合管理ができるような施設を検討して欲しい。</p>	<p>地域コミュニティの拠点として、地域の皆さんが施設の運営に関われるような仕組みづくりを検討していく。</p>
<p>保育施設は私立運営となるだろうが、災害時の運営がうまくいくように、企業を誘致する時点からはっきりさせて欲しい。</p>	<p>昼間に災害が発生した場合、保護者が引き取りにくるまでは、子どもを預かることとなる。民間法人になるとしても、災害時には、地域と連携していくことになる。</p>
<p>工事の時点や開設後の総合的な管理の最終的な責任者をはっきりさせて欲しい。近隣は工事や、建物の規模等の影響をうける。配慮して欲しい。防災、避難所、としての機能を今よりグレードアップするのか？前向きかつ先進的な防災拠点としてのありようを検討して欲しい。 基本構想検討委員会の構成の想定は？</p>	<p>工事時や開設時の管理責任は明確にする。新たな施設の運営は皆さんとご相談しながら検討していく。 工事は、騒音に配慮しながら進めていく。基本構想・設計を進める中で、規模等は周辺環境を配慮しながら検討していく。 防災面は、例えば避難所のプライバシー問題など、ソフト・ハード面から可能な限り充実させていく。 委員会は3から4回。計画の修正可能な時期に住民説明会を開いて、ご意見を伺う。またこれまでの検討ミーティング参加の皆さんとは、委員会の節目ごとに情報を提供し意見をいただくといったキャッチボールを引き続き進める。委員会メンバーは、決まってはいるが、地域の方、学校運営に関わっている方など4から5名を想定している。</p>
<p>体育館、プールはどうなるのか？校舎は残すのか？</p>	<p>建物は解体する。</p>

<p>(素案の)4 ページにあるが、現在は、休日・夜間の子ども利用は学校が許可しているが、大人利用は区の施設利用の決まりに合わせて許可されているのか？</p> <p>主たる使用は子どもさんにして、大人の使用は従の扱いにして欲しい。</p> <p>夜間利用は現在9時で助かっているが、近隣としては、夜間利用はできるだけ少なくして欲しい。</p> <p>代田1丁目は環境がいい。地元主義で、業者が入らないで地元主体で開発してきたためだろう。今後もそうしていきたい。</p>	<p>学校施設の利用は、学校長の判断で行っている。その中で、空きがあれば、けやきネットシステムで予約ができるようになっている。</p> <p>今後、(学校跡地の)新しい施設の利用にあたっては、地域の優先利用を考えていく必要があると考えている。</p> <p>子どもを主として使える施設の一方で高齢者が使える施設というご意見もあり、バランスを考えていく</p> <p>夜間利用は現状9時を10時ということにはならないと考えている、それをさらに少なくというご意見でしたが、(ご意見をふまえ)今後検討していきたい。</p> <p>運営に地域の方々にかかわっていただきたいと考えている。今後町会さんをはじめ地域の方々と相談させていただきたい。</p>
<p>修正可能な時期に説明会を開くといっているが、本当に修正できるのか？</p> <p>修正後さらに説明会するぐらいでないとなら修正できないのではないか。</p>	<p>幅広く行う説明会とは別に、それにいたる過程で、検討委員会と並行して意見交換をする場を設けていく。</p>
<p>5 ページのスケジュールにある平成31年で取り壊した後、2年でできるのか？</p> <p>振動が予想される。振動被害等々建設に関わり、周りの家屋における被害等、工事を行う前後で調査・評価をして対応するのか？</p>	<p>スケジュールは31・32年度で解体・建築を進めていく予定である。周辺家屋の事前調査、事後調査を行い、工事を進めていく。</p> <p>被害があった場合は、施工業者との間でやりとりをしていただく形になる</p>
<p>防災関係で、昼間人口と夜間人口が違う。人口実態を調べて施設建設を検討して欲しい。</p> <p>また、地区には動けない人もいるので、そのことも配慮して欲しい。</p>	<p>大切な視点。避難所運営について今後検討していく。</p>

<p>新しい施設のグランドレベルはどの位置か？</p>	<p>現在の位置になる。ただし、擁壁などは、新しい施設のアプローチなどを検討しながらゾーニングしていく。</p>
<p>本日の説明会には高齢者福祉の職員が一人しかいない。子どもの人口より高齢者の人口が倍以上になるのではないか。65歳以上の高齢者のことも考えて欲しい。</p>	<p>世田谷区の65歳以上の人口は17万人(19%) 梅丘地域5500人(65歳以上)で、今後団塊の世代が75歳になる2025年が超高齢化社会になると言われている。区として、花見堂の多世代が交流できる施設という位置づけもたいへん重要だと考えている。また、介護が必要になった方々に対する施策にも力を入れて行く。代田南児童館跡地に介護施設を検討していく。</p>
<p>(この会以前にも何回か会議を開いて意見交換したとの発言を受けて)そうした会議の情報は、どう提供されてきたのか?しらなかった?</p>	<p>周辺地域にチラシ、戸別配布して周知した。</p>

<p>その他のご意見等</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・文化の発信となるような施設として欲しい。 ・(PTAでは)ここまで2年以上こうして活動を行ってきた。これまでのミーティングでも、高齢者施設の意見も多数だされたが、案の表現になっている。区も今後の意見交換の場を約束してくれているので、ぜひ多くの方が、こうした場に出てきて、意見を出して欲しい。 ・立派な施設として欲しい。周りの区では立派なことをやっている。新しくできる施設も、みんなでつくり、世田谷区の名物として欲しい。他区からも視察に来るような施設として欲しい。

「花見堂小学校跡地活用方針(素案)」に対する 区民意見募集実施結果概要

1. 実施概要

- (1)実施期間 平成26年9月15日～10月6日
 (2)媒体 区のお知らせ、ホームページ、まちづくりセンター等
 (3)受付状況 78件

2. 意見等

NO	項目	ご意見等	区の考え方
1	基本方針	「子ども声が聞こえる施設」に賛成。 ・学校規模の跡地は子どもに使って欲しい。 ・児童館の対象とする幅が年々乳幼児から中高生まで広がっていることを考えたとき、施設の充実はもっとあっていいことだと思います。子育て支援の役割、学童期の遊び場、中高生の集える場、そして集った人たちが仲間とやりたいことをつくっていかれる場。そうした場があることによって、子育て世代のパパママパワーや中高生の持つ力が、地域力となって発揮されていくことと思います。	子どもの声が聞こえる施設を主要な考え方の一つとして、検討を進めてまいります。
2	基本方針	これまで学校が積極的に関与・貢献してきた、周辺地域の環境やコミュニティの安心・安全の維持等の機能を継承していただきたい。 また、そのためにも複合施設のトータルな運営管理方針・マニュアルを周辺住民等も参加して作成する必要がある。	学校が果たしてきた地域コミュニティの核となる機能を今後も継承できるよう、住民の皆さんにも関与していただきながら、施設運営の検討を進めてまいりたいと考えております。
3	基本方針	施設の一体化した管理・運営 利用者・周辺住民の意向を施設運営に反映しやすい体制。	管理業務の受託者として民間事業者が入る場合でも、区が管理する施設ですので、責任体制を明らかにし、ご意見、ご要望を適切にお受けできるようにしてまいります。
4	基本方針	ミーティングを繰り返してきた成果として納得のいくものですが、付け加えるならば、多世代で利用するという表現を増やさないで、こどもの施設が全面に出すぎる印象がもしもありません。	方針素案の「検討の主な視点」で補足いたします。
5	基本方針	箱もの施設建設を前提にせず、代田1丁目地区の安全防災と静謐な生活環境の維持・増進を大前提とし、用途の検討をする慎重さが肝要。	地区に既にある施設を移転することで無用に「ハコモノ」を増やさないようにするとともに、現在の避難所としての機能は維持することで、災害対策に資する施設整備を目指しています。
6	賛成	概ね賛成。 多世代交流(特に高齢者とのふれあい)、災害時地域の拠点にして欲しい。	花見堂小学校が地域において果たしてきた役割を継承することを基本に検討してまいります。
7	賛成	方針に賛成です。 多世代が交わり、地域で子育てを応援していけるような施設ができると良いと思います。	子どもから高齢者まで多世代が集える施設となるよう、検討してまいります。
8	基本方針	児童館と老人保健施設が一緒になった施設。高齢者と子ども達が共に楽しめる施設。	子どもから高齢者まで多世代が集える施設となるよう、検討してまいります。特別養護老人ホーム等の介護サービス施設は代田南児童館跡地に整備する方向で検討してまいります。
9	基本方針	貴重な跡地スペースは児童・学生・高齢者だけのものではない。実際の大多数の勤労者の地域生活のうるおいに寄与するものであって欲しい。	移転予定の代田南地区会館は、特に年齢制限のある施設ではなく、施設周辺の住民の方を主な利用者と想定した集会施設です。今後、施設基本構想を作っていく中で、施設の機能、ゾーニング、運営を検討し高齢者から子どもまで多世代が集える施設となるよう、検討してまいります。
10	基本方針	素案に賛成です。地域の方たちの交流の場となることが望ましいと思っております。	今後施設基本構想を作っていくなかで、施設の機能、運営等を検討してまいります。
11	施設	保育園の新設が先行している中、子どもたちが自由にボール遊びができるなど、元気に遊べる施設の見直しも検討していただきたい。(広場・体育館)	子どもの声が聞こえる施設を主要な考え方の一つとし、児童館を中心とした子どもたちの居場所、遊び場づくりを行っていきたく考えています。
12	施設	素案に賛成です 子どもからお年寄り、身障者と健常者などいろいろな人たちの交流のできる場所、地域活動の拠点、防災拠点に。その一環として、児童館・福祉喫茶等もぜひ考えてください。	今後施設基本構想を作っていくなかで、施設の機能、運営等を検討してまいります。
13	賛成	賛成です。中高生の居場所も確保して欲しい。	代田南児童館を移転し、中高生世代の居場所となる機能を備えた児童館を整備します。

14	施設	方針に賛成です。 子どもと子育て家族が集まって時間を過ごせる多様な施設、地域の人がお互いに交流できる施設となることを希望します。	子どもから高齢者まで多世代が集える施設となるよう、検討してまいります。
15	保育	保育園は代田南地区会館跡地の高齢者施設と併設を。 区の管理施設に民間の運営施設が入ることで、一括管理されなくなり、苦情や要望をだしにくくなる。 利用者が地域限定されないため、送迎時の騒音の配慮に欠ける可能性がある。 跡地を地域のために利用することで、統廃合を認めた経緯がある。地域に住む子どもが増え、地域住民の暮らしの向上に役立ちお年寄りの健康が図れる施設を作る事が住民から求められている。	私立保育園が入る場合でも、建物の管理責任は区にありますので、責任体制を明らかにし、ご意見・ご要望に適切に対応できるようにしてまいります。 保育園の登園・降園時間は、保護者の就労状況により異なるため、短時間に集中することなく、登園・降園とも概ね2時間程度の時間帯で分散されます。また、自転車とベビーカーについては敷地の中に駐輪スペースとベビーカー置き場を確保するとともに、自家用車での送迎は禁止とし、保護者にも注意を促すよう、運営事業者に徹底してまいります。 今後、跡地活用検討ミーティングの提案を踏まえ、地域コミュニティの拠点となる施設機能・運営等を検討してまいります。
16	保育	児童館が入ることは大賛成ですが保育園は必要でしょうか？ 防災施設や地域住人が自由に使えるスペースなど…やはり少し余裕を持ってスペースを活用していただきたいと思えます。 保育園は現児童館の後にたつ特養ホームにした方が、子どもたちの元気な声も聞けるすてきな介護施設になるのではと思います。	保育園は小規模な私立保育園を整備する方向で、施設開設時期以降の保育需要を確認しながら検討してまいります。また、施設の配置等は基本構想を作っていくなかで、施設の機能(防災施設は、災害時の避難想定など)を考慮しながら、検討してまいります。 代田南地区会館の敷地面積は1,170㎡のため、民間整備の高齢者施設と保育園の併設は困難であると考えております。
17	防災	東京都の防災計画における代田地区の課題の解決に寄与するものであって欲しい。	空地(校庭)をなるべく残すとともに、現在の避難所としての機能は維持することで、災害対策に資する施設整備を目指しています。
18	防災	複合施設になり、避難者受入数が少なくなることも予想されるので、想定避難者数に応じた床面積・備蓄物品の確保。	避難所については、周辺避難所の状況や、災害時の被害想定などを考慮しながら、検討してまいります。
19	防災	世田谷区全体の防災という戦略的視点から緊急用のヘリ離着陸機能など、高度な防災拠点化の検討をしていただきたい。	災害時の被害想定、今後の区全体の災害対策などを考慮しながら、必要な機能を確保するよう努めてまいります。
20	施設	施設の懸念点 ・日照、景観等現状のものを維持する。 ・施設外での「たまり場」をなくす。 ・施設利用者による振動の対策。 ・利用曜日時間の制限。 ・最低限の駐輪、駐車スペースの確保。 現小学校西側に建物を建設し、体育・集会・児童館等を設置。災害時には有効に活用できる施設を兼ね備えた構想案を提出します。(以下略)	来年度以降、いただいたご意見も踏まえ、基本構想を検討してまいります。
21	施設	近隣住民としては地区外からの車の送迎・乗り入れが前提となるような施設には反対。	当該敷地の用途地域は、第一種中高層住居専用地域のため、遠方より不特定多数が集まるような施設は法令上原則として建設できません。 障害のある方などの利用等を除き、基本的には多数の車の出入は想定しておりません。
22	施設	老若男女の健康増進のため、プールの設置を希望します。	
23	施設	この間の説明会で意見として多かったのはお年寄りをメインの施設ということでした。 しかし、お年寄りメインの施設建設は少し反対です。子どもからお年寄りまで楽しめる施設として一部に人口温泉とか足湯などの施設の建設はいかがでしょうか？ 温泉施設があれば幅広い世代が集まる施設になると思います。	
24	施設	文京区大塚にある「教育の森」のような安らぎと教育とスポーツ施設の公園複合施設。自動車等での来館を一切禁止している点も評価できる。	花見堂小学校が地域において果たしてきた子どもが集う場としての役割、地域コミュニティの拠点としての役割を継承することを基本に検討してまいります。
25	施設	公園が少ないし、できたら毎日楽しめるので公園にしてください。	

26	今後の進め方	コンペ形式にしてはどうでしょうか？ 学生や建築事務所から広く新しい視野で競い合いその過程を一般に公開することによって街の活性化にもつながる。	区の公共施設は、財政的に現在の総量を維持することが困難になっています。学校跡地活用も、基本的には他施設の移転を前提に考えざるをえません。コンペ形式で自由に提案をいただくことは難しい状況ですが、「活用方針」に基づいた基本構想を策定する過程で、区民の皆さんとの意見交換を行いながら、よりよい施設をつくっていきたくと考えています。
27	今後の進め方	納税者として、無駄になりうるものやメンテに費用がかかるものは避けるべき。中長期計画の中でのイニシャルコストとランニングコストに関わる予算見直し・目安の説明を求めたい。	来年度以降、施設の基本構想に着手し、ゾーニングや施設規模について検討していきますので、コストの見直し等は、その過程で提示しながら、議論を進めていきたくと考えております。
28	今後の進め方	本来用途の検討を小学校跡だからといって学校関係者主体で限定的に行い区長に提案書を提出された点は違和感を感じる。大多数の他の地区住民に活動は周知されたのか。 今後は町会や地域住民の意見を聴取する機会をつくって欲しい。	花見堂小跡地の検討にあたっては、地域の方々や保護者、関係所管の職員等で構成された「花見堂小学校跡地活用検討ミーティング」をワークショップ形式で行いながら、ご意見をうかがってまいりました。初回のミーティング開催にあたり、参加を呼びかけるちらしを花見堂小の学区内の各戸に配布したほか、「跡地活用検討ミーティング通信」をその都度発行し、検討経過につきまして、町会回覧や区の掲示板、ホームページ等で地域の方々にお知らせしてまいりました。今後、基本構想や基本設計等跡地に建設される施設に関してより具現化していきますが、地域住民の方々のご意見をいただく機会を設けながら、地域に愛される施設建設に努めてまいりたいと考えております。
29	今後の進め方	用途ニーズに関する客観的な判断材料がそろっていない。地域住民や既存施設利用、コストに関わるデータの開示を。	移転予定の代田南地区会館、代田南児童館の基本情報、利用状況、コスト情報等は、区のホームページなどで閲覧可能な「公共施設白書」で公表しております。 新たな施設のコストに関しては、来年度以降、施設の基本構想でゾーニングや規模を検討する中で、明らかにしていきます。
30	今後の進め方	他の自治体での活用事例について研究して住民にアイデアを紹介・提示して欲しい。	学校跡地の活用は他の自治体でも進んでおりますが、都市計画上の制限、人口動態等の条件も異なりますので、世田谷区の財政状況や施設整備状況、需要などを総合的に加味し、今後も区民の皆さんに情報を提供していきたいと考えます。
31	今後の進め方	今後も、数度の全体説明会だけではなく、情報提供を含め、区が主催した、意見交流が可能なミーティングのような機会を作っていただきたい。 地域住民の長期にわたる努力に充分に応えていると思われる。今後運用面でも同様に行政と地域が納得のいく形となることを希望。 地域住民参加の検討ミーティングはとても意義のあるものと思います。是非これからもこの方針で進めてください。	引き続き多様な機会を捉えて、住民の皆さんとの意見交換を行っていきます。
32	工事	今の正門前をそのまま工事の出入口となれば、激しい騒音が起き、粉塵で窓を開けられなくなり、洗濯物も外に干せなくなるようなことになると大変困ります。 工事の出入口を別に設置して頂き、防音壁で囲むなどの対策をとり、今の生活状況を変えない配慮をお願いします。	今後の施設の配置・規模等の検討と合わせて工事で使用する出入口についても検討します。解体工事に伴う騒音・粉塵対策としては、外部足場に防音パネルを設置・散水養生を行う等の対策を行います。
33	工事	周辺住民の要望を建築計画に反映。工事開始前に工事概要の説明を含め周辺住民とのコミュニケーションを図ってください。	工事概要については周辺住民の皆さんに十分な説明を行い、相互に意思疎通を図りながら工事を進めるように努めていきます。
34	運用	賛成です。 事前申込みで体育館やその他の施設も利用できるような児童館みたいな所だったらもっと賛成です。	今後施設基本構想を作っていく中で、施設の機能、運営等を検討してまいります。
35	その他	9月の説明会で名称を「世田谷代田花見堂」との要望も出ていましたが、わかりやすく「花見堂」のみ入れればいいのかは…。 「方針」に施設の名称に「花見堂」を入れることを明記した方が良い(但し、代田はなくていいかなと思います)。	名称については、皆様からいただいたご意見も踏まえ、基本構想策定時に検討してまいります。
36	その他	素案に賛成です。子どもたちが安全に遊べる場所を確保することが子どもたちの情緒を育てることにつながると思います。	

37	その他	花見堂小学校がなくなってしまうのは、とても残念ですが、跡地を子どもが利用できるのは賛成です。子どもが集まらない地域になってしまったら、今後地域は発展していかないと思います。また、地域の人たちも利用できる施設になることも賛成です。	_____
38	その他	賛成します。子どもは地域で育むものです。生き生きとした次世代の活力を育てる施設が出来る事を希望します。	_____
39	その他	子どもが花見堂を卒業・在学しています。跡地利用については現在の内容で納得しています。少子化という理由で閉校するわけですから、代田の地域を高齢者の地域にしたいはありません。保育所も併設する予定「であれば、ぜひファミリーで住んでいただきたいし、代沢地区の子どもたち、地域の方にも幅広く利用していただけるような施設ができたらいいと思います。私の子どもたちもその友達も6年後を楽しみにしています。	_____
40	その他	賛成します。他世代と交流する場所は必要不可欠です。子どもたちの安全な遊び場も必要です。代田南児童館を充実させる施設、また高齢化社会にとって子どもたちの声が聞こえる環境は地域としてなくてはならないと思います。	_____
41	その他	以下の素案に賛成します <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの声が聞こえる(児童館のような施設) ・多世代交流ができる場所(できれば地域運営) ・災害時地域の拠点となる場所 ・施設に障害者の就労場所(喫茶店等) ・施設に花見堂の名前をつける 	_____
42	その他	子どものいない社会は衰退するのは当然の事なので長い目で見ると子どもが第一で考えなければならないと思っています。その目線で検討を続けてきて戴いた素案に沿って行くのが最も理にかなっていると思います。	_____
43	その他	子どもの声を騒音と捉えず「子どもの声が聞こえる施設」として真っ先に記載されていることは大変素晴らしいことだと思いました。地域の住民の方々の「まちづくり」の意識が高いのだと感じました。世田谷区のモデルとなるような跡地活用を進めて下さい。	_____
44	その他	ここまで行き着くのに2年の歳月を要しました。真剣に話し合い小学校が無くなった後も子どもたちの声が聞こえる施設建立に向けて動いていきたいです。	_____
45	その他	素案に賛成します。(以下主なコメント) <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの声のする居場所として残していただきたい。 ・子どもを大切にする事を第1にして、大変ありがたく結構だと思えます。 ・地域のみなさんにとって有効な活用を望みます。 ・素敵な施設になりそうでとても楽しみです。 ・この方針で進めて下さい。 ・望んだ通りの施設案です。 ・少子化そして特に子どもよりご年配の方が多くに思われるこの地域で貴重なご提案だと思えます。 	_____